

心にとっての読書は 体にとっての運動と同じである

アイルランドの作家リチャード・スティールの言葉です。心も体も大きく成長する中学生の時期に、栄養をとったり鍛えたりすることはとても大切なことであるのは皆さん自覚しているでしょう。心や体に栄養をとる・心や体を鍛えるためには、読書をすることと運動することが有効だと私は考えます。

沖田中学校では4月に「北九州市子ども読書の日の取組」を行いましたが、10月末にも内容を変えて実施しました。現在、学校図書館には沖田中学校の先生方から持ち寄られた「中学生へのおすすめ本」を展示し、「図書館クイズ」も掲示しています。

私は本をいきなり買うのではなく、まず地域の図書館で借りて読んでみます。(現在も2冊借りています。) 読みたい本が決まっていて事前にインターネットで予約し、図書館へその本を借りに行くこともあれば、返却に行ったついでに本棚の間をウロウロして面白そうな題名の本をその場で選んで借りることもあります。ためになる本や何度も読みたくなる本は大当たりで、読み終わった後に書店で購入します。逆に、期待外れで題名ほど面白いと感じなかった本は、すべて読まないまま返却することもあります。

堅苦しい場所だと思い込んで、これまで図書館をあまり利用してこなかった人がいたら、面白い発見ができる場所と考えて気軽に図書館に入ってほしいと思います。もしかしたら自分の一生を左右する本との出会いがあるかもしれません。



保護者の皆様・生徒の皆さんへ

家庭で本を話題にしてみませんか

子どもたちが好んで読んでいる本の題名を見ると、40年、50年と読み継がれている作品もあります。お父さん・お母さん世代やおじいちゃん・おばあちゃん世代が中学生のころ、夢中になって読まれていた本の中には、現代の中学生をもひきつける力があるものもあり、よい本は時代を超えるのだと感心します。

親子で同じ本を読んでみる、お家の方が中学時代に好きだった本をお子さんに勧めてみる、生徒の皆さんのが読んでいる本をお家の方に勧めてみるなどを試してみては、いかがでしょうか。面白いと感じた場面が家族で一緒だったり、自分にとっては意外な場面だったり、主人公

ほか登場人物に対する感じ方が異なっていたり…と、感想を話し合うのがとても楽しい時間になります。



沖田中だより

北九州市立沖田中学校
校長室通信
第7号
校長 安部朋恵

防寒着等のきまりが一部変更に

登下校時のみ着用できる防寒着は、これまで学校指定のウインドブレーカーのみでしたが、校則の見直しにより、無地で華美でないものも追加されることになりました。(色は黒・紺・茶で、ファー・フードがついているものは不可)

詳しくは後日あらためてお知らせします。また、防寒着の他に見直された生活のきまりについて、生徒には校内放送で知らせるとともに、学校HPで公開しています。ご確認ください。

沖田中学校区ミーティング進行中

北九州市では、中学校区ごとに児童生徒が、いじめ防止・ネットの適正利用について考える中学校区ミーティングを実施しています。塔野小・中尾小・沖田中では「ネットトラブルから自分を・仲間を守るためにルールを考えよう」と「あいさつのあふれる明るい校区にしよう」をテーマに考えを出し合う取組を行っています。生徒会代表の皆さんの中学生諸君の考えと2つの小学校の児童たちの考えをまとめ、11月末か12月はじめには、校区みんなができる取組が発表される予定です。